

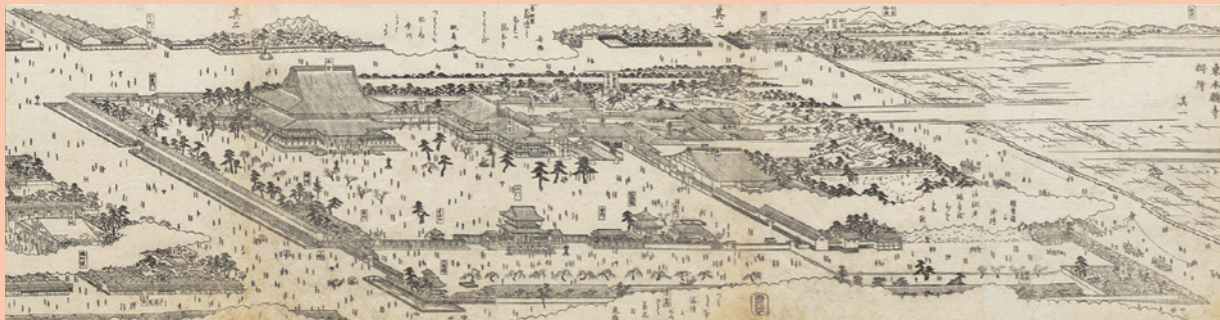
## 名古屋別院の歴史

このお寺の名前は名古屋別院です。

1200年ごろ親鸞聖人というお坊さんが【浄土真宗】をつくりました。【浄土真宗】は仏教のひとつのグループです。【浄土真宗】は阿弥陀仏の名前を呼ぶことを大切にしています。蓮如上人というお坊さんがその考え方を広めました。

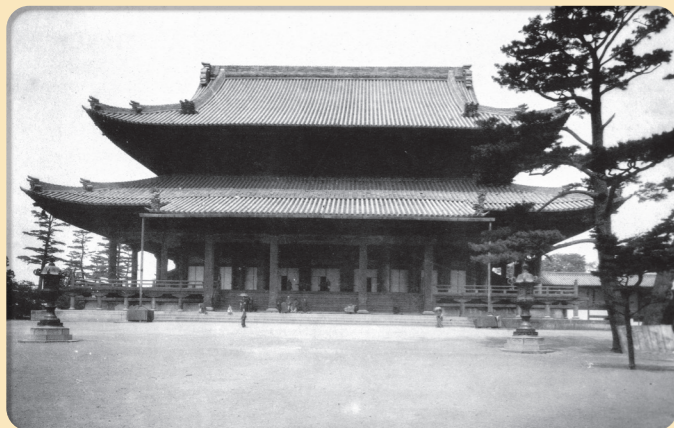
このお寺は300年以上前、1690年につくられました。

しかし、1945年3月に戦争で燃えてしまいました。1962年、名古屋の人々は力を合わせて新しい本堂をつくりました。



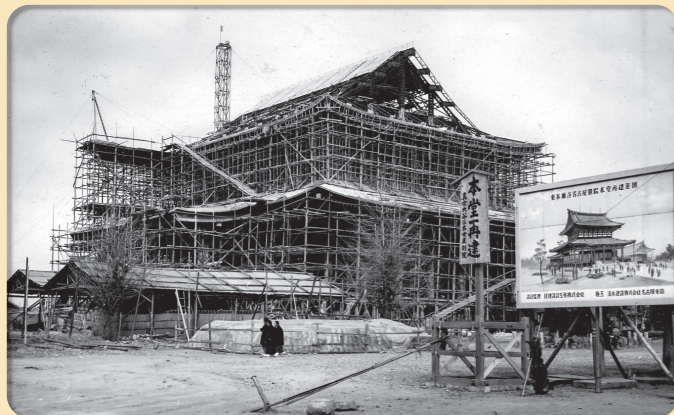
江戸時代の別院の様子（「尾張名所図会」1805年（文化2年）愛知県図書館蔵）

## 古の別院



### 旧本堂

昔の本堂です。1690年に建てられ、1823年に修理されました。1945年に戦争で燃えてしまいました。



### 本堂再建

1962年、名古屋の人々は強く壊れにくい「鉄筋コンクリート」を使って今の本堂を建てました。

### 旧鐘楼

昔の鐘楼です。建物は戦争で燃えてしまいましたが、鐘は燃えませんでした。昔の鐘が今も残っています。



### 旧山門

昔の山門です。1757年に建てられました。昔の山門も上のところに3つの仏像がありました。

文字色 ■ 人の名前 ■ 国や県、町、場所の名前 ■ 仏像の名前

## 真宗大谷派名古屋別院〔東別院〕

# お東さんへ ようこそ



## かんたん 日本語パンフレット

## 真宗大谷派名古屋別院〔東別院〕

〒460-0016 愛知県名古屋市中区橘2-8-55

TEL.052-321-9201 / FAX.052-321-3184

ホームページ「お東ネット」 <https://www.ohigashi.net>





# 東別院境内マップ



**A 本堂**  
 本堂はお寺の中で一番大切な場所です。本堂には仏像があります。お坊さんは、毎日朝と晩、ここでお経をよみます。このお寺の本堂は、1702年に建てられました。1945年3月に戦争で名古屋にたくさんの爆弾が落ちました。その時、この本堂も燃えてしまいました。その後、1962年にもう一度、新しい本堂がつけられました。本堂の中に阿彌陀如来像と親鸞聖人の絵があります。

**B 山門**  
 山門はこのお寺の中で一番大きな入り口です。お寺に来る人はここを通ります。1757年に建てられましたが戦争で燃えてしまいました。今の山門は1968年に建てられました。

**C 釈迦三尊像**  
 山門の上のところには仏像が3つあります。真ん中は釈迦如来像、右は弥勒菩薩像、左は阿難尊者像です。

**D 鐘楼**  
 高さが1メートル77センチの大きな鐘です。大きな法要が始まる時にこの鐘を鳴らして、皆さんに知らせます。

**E 豊本説教場碑**  
 豊本説教場は仏教のお話をする場所のひとつでした。今の栄のあたりにありました。高速道路の工事をした時にこの石が見つかりました。

**F 明治天皇名古屋大本営碑**  
 1890年に軍隊がここで訓練をしました。この石はその記念です。

**G 明治天皇行在所旧址碑**  
 昔明治天皇はこのお寺に泊まりました。この石はその記念です。

**H 住田智見講師句碑**  
 住田智見という人がつくった俳句が書いてあります。住田智見は名古屋で生まれました。そして、仏教の学校をつくりました。

**I 古渡城趾碑**  
 このお寺ができる前、ここにお城がありました。そのお城の名前は古渡城です。そのお城は1534年に建てられました。この石はその記念です。

**J 水屋水盤**  
 日本では、お寺に入る前に、手や口を洗います。このお寺ではここで手と口を洗います。これは1900年につくられました。

**K みてござる碑**  
 「みてござる」は「私は見守られている」「仏は私をいつも守っている」という意味です。宮部円成はこの言葉を大切にしていました。宮部円成は愛知県で生まれました。そして仏教を広めました。

**L 東門**  
 お寺の東にある入り口です。このお寺の中で一番古い木の建物です。

## 残石って何ですか？

名古屋城を建てた時、たくさんの大きな石を使いました。その石はここから運びました。その時の石がここに残っています。「残石」はその石のことです。石をとった人が自分の印(写真の中の赤い線)をつけました。お寺の中に「残石」がたくさんありますから、探してみてください。



文字色 ■ 人の名前 ■ 国や県、町、場所の名前 ■ 仏像の名前